

こぶし だより

働こう障害者も
SSKW
働けるんだオレたちも



新メンバーが加わり、パワーアップした製パン班（けやき作業所）

CONTENTS

- ① 特集「障害者自立支援法と給食」…… 2P～3P
- ② トピックス …… 4P～5P
- ③ 評議員から一言 …… 4P
- ④ ふれんどパーク …… 6P
- ⑤ こぶしサポーターズ …… 7P
- ⑥ アドレス・編集後記 …… 8P

No.230

2006

5

障害者自立支援法 と給食

特集



この4月から障害者自立支援法が一部施行されました。この「一部」の大きな部分が利用料の割負担と昼食代の負担。一日3食のうちのたかが一食。しかし…。

四月から給食を 続けることを法人 が決定

給食を実施するかどうかを決定するために、法人は二月中旬にそれぞれの事業所でアンケートを実施。その結果は、回答者総数一〇四名のうち、「給食がすき」が八一%、「給食が必要だと思う」が九七%、「給食に期待すること」は、「栄養面」が最も多く七六%、「今後も給食を利用したい」が八二%という結果を得ました。そこで、法人としては、給食を継続することに決定しました。給食代は、実際の経費を大きく下回る五〇〇円としました。



ある日の献立

給食を食べる人が減った?

四月から自己負担の対象となった「給食」。それぞれの作業所ではどんな変化があったのでしょうか?

こぶし作業所

利用者三五名中、

給食をとっていない人……一名
とったり取らなかつたりの人……一名

◎給食を取らない理由を教えてください

さい

ご飯の量、おかずの量と金額面が家庭の都合もあつて納得できないと判断、そして支援法の関係で負担額が増えてしまったので、家に入金する分と交通費、弁当代等差し引き、手元に残る金額が一ヶ月で千円、貯金が〇円。とても残念ですが給食をとるのはむずかしいです。

◎給食ではなくて何を食べていますか?

か?

手作りの弁当であつたり、夜の食材で残つたおかずを入れていきます。

その他はカップ麺、パンにしたりで、バラエティをつけて楽しんで食べることにしています。

セルプ・みらい

利用者三〇名中、

給食をとっていない人……一名

◎給食を取らない理由を教えてください

さい

給食費五〇〇円×二〇日で一万円になつてしまい、払うことができない。

◎給食ではなくて何を食べていますか?

か?

現在は、弁当を持参、もしくはコンビニで三〇〇円以内でおさえるようにしています。



セルプ・みらいの昼食
「毎日待ちどおしい」

けやき作業所 第2 けやき作業所

利用者八九名中

給食をとっていない人……九名

とったり取らなかつたりの人……三名

◎給食を取らない理由を教えてください

さい
いままでよりも給食費が高くなつたから。

医療費の支払いなどが出てきたため、給食費を支払うのがむずかしくなってきたから。

自分たちの作つたけやきのお弁当を食べたいからです。



厨房班の作業風景

◎給食ではなくて何を食べていますか？
家族に作ってもらった弁当であつ

たり、自分でお弁当を作ってきています。

けやき作業所で自分たちの作っているお弁当を食べています。

以上が、各作業所の現状ですが、当法人は、軽食喫茶、弁当事業、給食事業など、「食」を利用者の仕事にもし、大切にしている法人です。給食についても、栄養のバランスはもちろんのこと、利用者の方々に少しでもおいしく楽しい給食を提供しようと、旬の食材や地元の食材を使用したり、季節感を味わえる行事食や選択など、それぞれの事業所ごとに様々な工夫をし、食事支援を行ってきました。

アンケートの中でも、利用者にとつての給食は、「活力源」「もともと大切なもののひとつ」「みんなと一緒に食べられる楽しさ」「バランスのとれた栄養ある食事」「一人ひとりのことを考えてくれる食事」などのありがたい評価をいただいています。

有料化は、やっぱりおかし。

しかし、今回の給食の有料化、そして事業所はその提供について、利用者は実際の利用について、それぞ

れ当事者の判断にまかせるという考え方は、福祉施設における「食」の位置づけを大きく後退させることになりました。

給食は、みんなで食べる楽しみ、

偏食の改善、栄養のある食事の摂取、自分で食べる力を育むなどの、周囲との関係づくりや「食」と自分の健康への関心を高めること、季節を感じる等々、生きることの喜びを最も直接的に味わうことのできる、作業所の重要な支援内容のひとつです。

それが、事業所と個人レベルの問題とされてしまったのです。「有料化」を前提とした結果と考えられる「自己決定・選択」は、「食が豊かに楽しくなる」ための意思表示とは遠くかけ離れたものです。

現実に、有料化が原因で給食をとりにくくもとれない方、自己選択の結果として給食を食べない方が出てきました。今後、法人が給食費の単価を引き下げ、内容を充実するためには精一杯努力することは当然のことですが、それだけでは課題は解決しません。

四月分の利用者の一割負担金額と食事代の費用が明らかになり、高い方は合わせて二万六千円ほどの負担になりました。工賃は、平均してわ

ずか一万円前後です。

みんなが安心して給食を楽しめるようになるために何ができるか、あきらめないで一緒に考え、できることから始めましょう。



「いつも、うまいなあ」

ご存知ですか

給食費の軽減サービス

通所授産施設等では支援法施行後三年間、低所得の場合、食料費のみの負担となります。

利用されている事業所によって食料費の価格設定は多少異なりますが、一度ご相談ください。

トピックス

こぶしの会のあたらしい仲間が増えました

真岡ひまわり共同作業所

わたしたちのあたらしい仲間がふえました。真岡ひまわり共同作業所という名前の、栃木県精神障害者小規模共同作業所という、栃木県の条例による作業所です。この作業所に通ってくる仲間たちは二三人。いろいろな願いをもちながら作業所を利用しています。

真岡ひまわり共同作業所は平成四年に、県内でも活発に活動していた芳賀地区やしお会（芳賀地区一市五町の精神障害者家族会）や当事者の方々の熱い願いと努力により開所し、一四年の歴史を持つ作業所です。しかし、芳賀地区の精神障害分野の活動はさらにさかのぼること昭和五〇年（県内初の宇都宮ひまわり作業所の開設が昭和五八年です）。一宮町に家族会が生まれ、またたくまに一市五町に家族会が結成されました。その中心に、元こぶしの会評議員の仁平満氏が会長として重要な役割を果たしており、作業所建設は当時からの家族会・当事者の悲願だったのです。その間、幾

度となく設置場所を見つけては地元の反対にあってたりしてなかなか安らぎの地にめぐり合えなかったのです。

こうした歴史を受けての作業所の経営委譲。本来なら関係者のあふれる願いを豊かに広げていく未来を、今回の障害者自立支援法がゆがめてしまったのではないかと心配です。経営が変わることにより、職員や利用者の不安を受けながら一つ一つ信頼をつくり、こぶしでよかったと言う作業所を目指したいと思います。

第2けやき作業所と同じ支援を求められながら、補助金額はその一五分の一。同じ地域に、同じ日本に住んでいながら、生きがいの差別は許せません。こぶしの会のなかまの力を借りて、一緒に未来へ立ち向かいたいと思います。

花見に行ってきた!! (セルフみらい)

春雨が続く日々の合間をぬった晴れの日に、リサイクル班の利用者が、壬生のわんぱく公園へお花見に行ってきました。春休み中ということもあり大勢の人達で賑わっていました。駐車場から公園内の桜並木まで、花壇の花々を眺めつつゆっくり歩きました。リサイクル班は、缶回収やガスケツト作業のほか、プールやスポーツなど、作業所を

こぶしの会評議員から一言



昨年一二月よりこぶしの会評議員になった直井信也さん（利用者自治会代表）にお話を聞きました。

◆評議員をやらうと思った理由はなんですか。

「仲間を代表して指名されたのだから、仲間の意見など私を通して伝えることができればと思い、やってみようと思った。」

◆抱負をきかせてください。

「まだ今の段階では何ともいえませんが、こぶしの会の仲間の意見をまとめて伝えること、全体での仲間交流会みたいなものやってみたいと思います。」

◆最後にひとことお願いします。

「これからのことはやってみなければわかりません。とにかくはじめてのことなのでわからないことだらけですが、こぶしの会の仲間全員のためにがんばりたいと思います。よろしくお願いします。」



桜の下でひと休み

飛び出して取り組みを行っていますが、今回の花見もその一環として行いました。外出することは、皆楽しみなのでしよう。出かける時の靴の履き方や、車に向かう弾んだ体の動きからそんな様子を見ることがができます。さて、わんぱく公園に到着すると、公園内を大きな声を出して気分の赴くままに走りまわったり、景色を見て楽しそうに笑って手を何度も叩いたり、自分が見ている物や声に出して職員に伝えたりと、開放された空間の中で、それぞれが自分の楽しめることを自然に見つけています。そんな姿を見られた時、同行する職員も楽しい気持ちになります。写真はこいのぼりを背景に桜の下で撮ったものです。

バザー倉庫大改造実現!

(こぶし作業所)

五月二〇日(土)、こぶし作業所の環境整備の日、栃木シルバード大学校中央校の皆さんのお力添えで、バザーの品物を保管する倉庫の整理を行いました。この作業は、毎年多くの市民の方々から寄せられる品物を有効に活用させていただくためにどうしても必要な作業だったのですが、ついつい目先の仕事に追われて手をつけられない状態にあり、関係者一同大変心を痛めておりました。そこに、様々な経験をお持ちの大学校生の皆さんが、倉庫内の図面引き、必要機材の準備、スケジュールまで含めて周到に準備を進められ、当日は早朝から終日ご協力くださったのです。皆さんの熟練力と若い職員の体力が見事に合わりました。職員は、いつもの環境整備とは異なる何かを感じ、多くのことを学んだようでした。

結果は、「これがあの倉庫?」とびっくりするほどの出来栄え。片付けがこんなにすごいものだとはじめて知りました。これで今年のバザーは、成功まちがいなし。

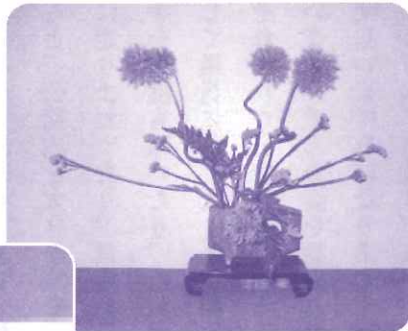
恒例となった『こぶしバザー』は、品物をご寄贈くださる方、それを整理し値札つけをしてくださる方、当日の販売、後片付けと、数え切れない



ほこりと汗にも負けず

多くの支援者の皆さんの地道な活動の積み重ねのお陰で続けてこられたのだと実感しました。今年も質的にもバージョンアップして第二九回バザーに挑戦いたします(バザーは、一月四日にオリオン通りイベント広場で行います)。

阿部様、糸井様、井内様、宇賀神様、斉藤(重)様、斉藤(寮)様、鈴木様、高尾様、田崎様、箕輪様、山崎様、ご協力ほんとうにありがとうございます。



い ばな
「生け花」

はなゆう だい
by 花遊さん (第2けやき)

まいつき げんかんまえ とうじょう
毎月、玄関前に登場。

ふれんど パーク

こんげつごう りようしゃ
今月号から利用者のためのページをめざして、

「ふれんどパーク」をはじめます。

ざんねん いけん けいじゆつりん
残念ながら、いままで意見や芸術品(?)
はっぴよう ば おお
の発表の場は多くはありませんでした・・・。

りようしゃ
そこで、「こぶしだよりの1ページを利用者
にあげわたそう!」ときまりました。

いけん え しゃしん
意見やOOじまん、絵、写真など、どんな
ものでもオッケーです。きまりはありません。



「♪どんなはなより たんぽぽの～♪」

きし
by 岸さん (こぶし)

おんがく しゅわ うた
音楽クラブで手話の歌をうたってます。



「さんぽたのしいよ～」

おおがね
by 大金さん (こぶし)

たいりよく まいあささんぽ
体力づくりで毎朝散歩。

やく いん 役員がきまりました! (セルフ・みらい)

じちかいやくいん セルフ・みらい自治会役員



やくいん わたし なに えんぜつ
「役員になったら、私は何をしたいか」の演説をきき、
とうよう じぶん えら ひとまる か とうよう えら
投票は、自分で選べる人は丸を書いて投票し、選ぶのが
おずか ひと こうほしゃ あくしゅ えら けっか
難しい人は候補者との握手によって選びました。結果は、
よしざわ みる じちかいちよう ほか とうせんしゃ
吉沢実さんが自治会長になりました。その他の当選者は、
やた のりよし ふじさわ ゆき なばな みねこ
矢田佳紀さん、藤沢由紀さん、那花峰子さんです。



こぶしSupporters

サポーターズ

後援会 保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします～

後 援 会

●こぶし作業所後援会

【会 長】谷 博之 【副会長】橋本 道子
【年会費】1口 1,000円

●けやき作業所等後援会

【会 長】福田 貞夫 【副会長】町井 基
【年会費】1口 1,000円

●みらいの会

【会 長】岸 勇次 【副会長】増山美津枝
【年会費】1口 3,000円

今年度は、まず一番の土台である「会員拡大」に力を入れること。そしてそれを力に、大きなイベントに取り組み、たくさんの収益をあげて「自立支援法」の荒波に立ち向かおう！

(みらいの会)

只今、物心両面でサポートしていただける後援会員を募集しています。問い合わせ・連絡先は、各作業所までお願いします。

保 護 者 会

●こぶし作業所保護者会

【会 長】石川 泉

会の目的としている、会員相互の親睦、作業員運営への協力及び仲間たちの安寧に寄与することを課題として取り組んで参りたく、なお一層のご支援とご協力を賜りたく存じます。

●けやき作業所保護者会

【会 長】石原 敬子 【副会長】津村 ツギ子

●セルフ・みらい保護者会

【会 長】金谷ハルエ 【副会長】久保田 恵美子

今月号より、全面リニューアルされた“こぶしだより”、後援会・保護者会・ボランティアの専用ページができました。(^^)v

今後、活動内容等をこの紙面をお借りしまして、皆さまにお伝えしていきます。障害者自立支援法が施行された今、皆さまのお力が必要です。(*_*;

ぜひ、皆さまもこぶしの会のこれからお力添えをください。(o^o)

- こぶし作業所 知的障害者通所授産施設 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
TEL 028 (613) 5703
E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
- 障害者生活支援センター 在宅障害者の相談・支援
- こぶしのときわ荘 知的障害者グループホーム ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
TEL 028 (667) 5531
- くるみ 知的障害者グループホーム ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町2867-3
TEL 028 (664) 0414
- けやき作業所 知的障害者通所授産施設 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
デイサービスセンター
法人事務局
- 第2けやき作業所 精神障害者通所授産施設 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター 精神障害者の相談・支援 TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- すずらんの家 知的障害者グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ 知的障害者グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム 精神障害者グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
TEL 028 (677) 0776
- セルプ・みらい 知的障害者通所授産施設 ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
- ぼてっと 知的障害者グループホーム ☎321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2

編 集 後 記

今月号からこぶしだよりがリニューアルしました。特集と各作業所のページはいままでのように今後も掲載していきますが、表紙はデザインを一新、新たに利用者みなさんの作品などを掲載するページや、後援会・保護者会・ボランティアさんのページを設けました。最後のページもデザインをちょっと変えて、編集委員の一言を編集後記に載せていきます。

利用者・家族・サポーターの皆さん・職員・法人がともに考え、ともに育ちあい、地域の福祉力を高めるのに役立つような広報紙づくりをめざして私もがんばります。

ご意見や掲載してほしい作品などがありましたら、スタッフまでお知らせください。

(上野)

編集委員

上野 健二 枝 雅紀 成田 高志 廣本 佳奈子 矢板橋 敦